（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	豊区心身障がい児デイサービスkokuna

公表日　令和8年5月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・部屋が広く使えるように整理されている。	利用児童数が多い時期等はパズー等により活動スペースが狭くなるため、備品整理・再配置を検討し、動線確保と活動空間の最適化を進める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・1対1での対応をしている。	臨時時間帯や決定が重なる時間帯に負荷が集中するため、安定時間帯の人員配置を定期的に見直し、支援体制の強化を図る。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・本棚、おもちゃの場所の工夫をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごける環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7		・消毒の徹底をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		休憩不良児対応時の個別・隔離スペース確保について整備を進める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・毎月の会議。 ・朝夕、話し合いの場を設けてくれる。	月例会議をPDCA進捗へ移行し、支援内容・環境整備・業務改善の評価と見直しを継続する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会 を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・定期的にミーティングをしている。 ・会議や管理者との面談を実施している。	職員意見をより業務改善へ反映できるよう、個別面談や定期ヒアリングを継続し改善サイクルを強化する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第三者による外部評価はやっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・避難訓練や心肺蘇生の講習など。 ・事業所内での勉強会(感染症等)を行った。 ・外部研修に参加している職員もいる。	職員の資質向上を図るため、今後eラーニングを導入し、継続的な学習機会や研修体制の充実に努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通情報の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	1	・モニタリングの際に共有してくれている。	活動後の評価を行い、継続的な改善につなげる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	4		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び各項内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・長期休みの日はお出かけ場所を決めて活動している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝のミーティング。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・毎日ミーティングをしている。 ・記録に残し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・職員間で共有する事などは職員共有欄に記録して、職間で話し合う時間を設けている。	連絡帳記録の標準化を進め、業務効率化と支援時間確保を図る。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を療養組み合わせて支援を行っているか。	4	3		「４つの基本活動」への理解を深めるため、今後は職員向け研修を実施し、支援内容の充実に努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・製作時の色選びや、遊びの選択。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や放課後職員との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	・必要時には情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	4	3		現在は対象児童がいないが、今後対象児童がいる場合には、必要に応じて支援内容等の情報提供を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	4		今後もセンターと必要時に連携を図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・学童との交流会を行った。 ・同じ放デイ間の交流をしている。	今後も地域交流の機会を継続するとともに、地域交流会の実施回数を増やすなど、地域とのつながりを深められるよう工夫していく。
	33	（保育支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		月1回の中城村連絡会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る組織から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		ペアレント・トレーニングに関する研修や参加案内等がある際には、保護者へ周知する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		必要時に応じて面談や相談対応体制を整理し、保護者支援を強化する。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	・夏祭り等。 ・イベント内での交流を持てるようにされている。 ・お祭りやクリスマス会等を行った。	家族参加行事を継続し、交流機会の充実を図る。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・職員間で話し合い、すぐに保護者へ説明や謝罪をするようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護 者に対して発信しているか。	7		・ココナだよりを毎月作成している。 ・HUG、インスタ、ココナだよりでの配信。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	・鍵付き書庫を使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・近所のお店などに行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・水や食料の準備や、地震発生時の避難訓練を行った。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	2		安全管理に必要な研修や訓練を継続的に実施するとともに、内容を細分化し、各項目に応じた研修等を実施してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット、インシデントについてのミーティングを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	・虐待防止研修や日々の声掛け。	年1回以上、虐待防止に関する研修を実施し、職員の知識向上および虐待防止意識の向上に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		研修時に身体拘束に関する説明を行い、保護者より同意書を取得しております。